

## 【公開文書】

臨床研究「日本人における CT を用いた腸骨・仙骨形態の計測」について  
筑波大学附属病院整形外科では、標題の臨床研究（観察研究）を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

### ① 研究の目的

今回、筑波大学附属病院で撮影された CT 画像データを後ろ向きに調査することで、上記に 関する状況を把握し、今後脆弱性骨盤骨折を手術治療する際の参考となる情報を収集させていただきます。

### ② 研究対象者

本学で脆弱性椎体骨折で入院治療された方で、  
本学で 2012 年~2020 年にすでに CT（脆弱性椎体骨折または骨盤骨折の診断・治療目的に取得した脊椎・骨盤部 CT データ）を撮影された患者さんが対象です。

### ③ 研究期間

倫理審査委員会承認後～2023 年 12 月 31 日まで

### ④ 研究の方法

この研究は、下記の対象となる患者さんの CT 画像データを用いて、以下のデータを収集します。腸骨・仙骨の骨形態について解析します。

### ⑤ 試料・情報の項目

患者の診療情報として年齢・性別、疾患名、そして CT 画像画像を対象とします。

### ⑥ 試料・情報の第三者への提供について

他の機関へ情報や試料が提供されることはありません。

### ⑦ 予想される利益と不利益について

この研究はデータの調査だけを行う研究であり、この研究に参加しても患者さんに直接の利益はありません。予測される不利益として個人情報の流出の可能性があります、そういうことがないようにデータの取り扱いについて細心の注意を払います。

### ⑧ プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などの研究に関する

データは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報外部に漏れることはありません。この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

⑨ 試料・情報の管理について責任を有する者  
情報管理責任者 筑波大学整形外科 講師 三浦紘世

⑩ 研究機関名および研究責任者名  
研究機関 筑波大学 医学医療系 整形外科学  
研究責任者 筑波大学整形外科 教授 山崎正志

⑪ 本研究に係る資金ならびに利益相反について  
本研究は教育研究費などで行われます。利益相反関係にあたる研究者はいません。

⑫ 本研究への参加を希望されない場合  
患者さんやご家族(ご遺族)が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。資料・情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑬ 問い合わせ連絡先  
筑波大学附属病院 〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1  
所属・担当者名 整形外科 担当 柳澤洋平  
連絡先 筑波大学附属病院 整形外科外来 029-853-3912 (平日 8:30-17:15)  
休日・夜間 029-853-3110 (救急外来、上記以外の時間帯)  
\*担当医師又は整形外科の医師を呼び出して下さい。